



カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成23年9月 NO5
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

1週間早く、2学期が始まりました！

今年も、1週間早く2学期がはじまりました。中には、なかなか調子が出ない人もいるのではないかと思います。早起き、早寝、朝ご飯パワーで生活リズムをつくりましょう。

門川町教育研究所は、夏休みの間に様々な研究活動を行いました。今回の「ふれあい5号」では、夏休み中の研究活動の紹介や確かな学力をつけるために、2学期はどんな生活や学習の工夫が必要かを紹介したいと思います。是非、役立ててください。

～ 夏休み中の活動紹介 ～

夏季研修

研究員の知識や教養を深め、これからの研究活動を充実するために、8月4日(木)、宮崎県教育研修センターで勉強してきました。

研究のテーマは、門川の子どもの学力を高めるための授業の工夫やドリル学習の工夫です。研修センターの先生と一緒に一生懸命勉強をしました。教育研究所では、この研修の成果を生かして10月に研究授業や研究会を行い、門川町内の先生方に見ていただくことにしています。

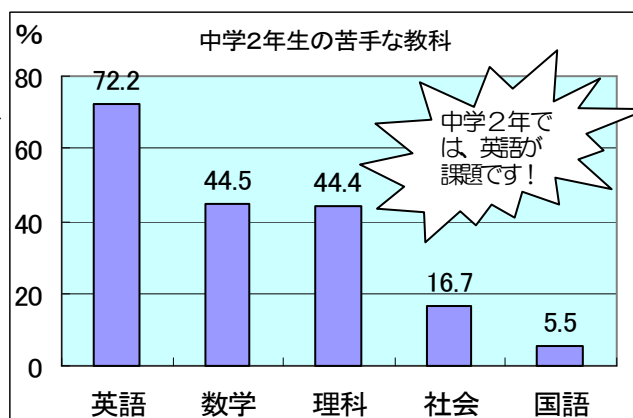
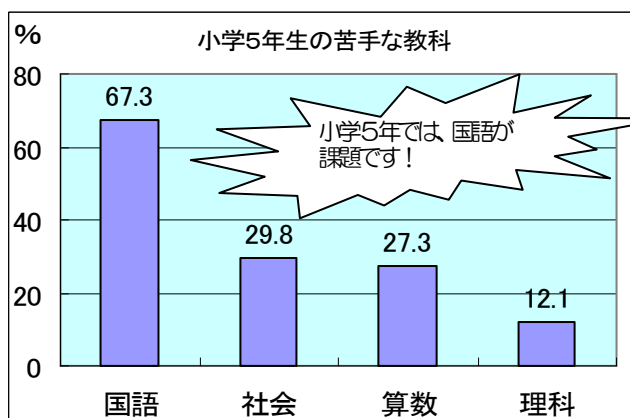


(教育研修センターでの研修)

2学期こそ、苦手な教科を克服しよう！

4月、小学5年・中学2年を対象に、みやざき学力・意識調査が行われました。門川町の結果をもとに、学力をしっかり育てるためのヒントをさぐり、紹介します。

平成23年4月実施
小学5年・中学2年みやざき学力・意識調査から



みやざき学力調査の結果から、学力が高いグループとそうでないグループで、好きな教科を調べたところ、好き嫌いの差が一番大きかったのは、小学5年生では国語、中学2年生では英語でした。このことから、学力の差によって苦手意識が一番大きくあられ、学力と深く関係しているのは、小学5年では国語、中学2年では英語ということが言えそうです。この苦手教科をがんばると、学力が見ちがえるように伸びてきます。勉強に自信がつかます。苦手だからこそがんばるという気持ちで、苦手のかべを乗り越え、学力アップをめざしましょう。

2学期、確かな学力を身につけるために！

学力が上位だった子どもたちが、家庭学習や毎日の生活で大切にしている、学力と深く関係していることを紹介します。

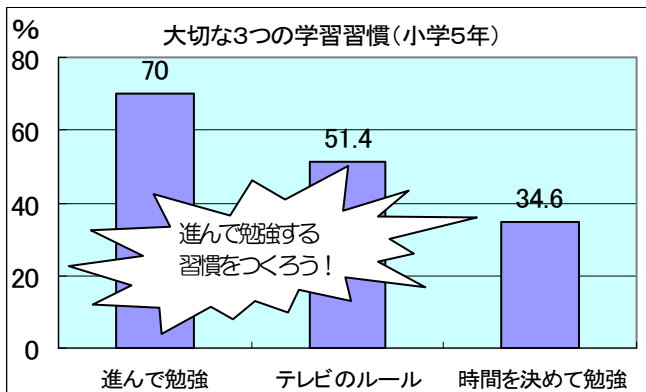
(グラフの数字は、学力上位と下位の子ども意識の差を%で表しています。差が大きいほど学力と関係していると考えられます。)

みやざき学力・意識調査

(門川町の結果) から

【小学5年・中学2年】

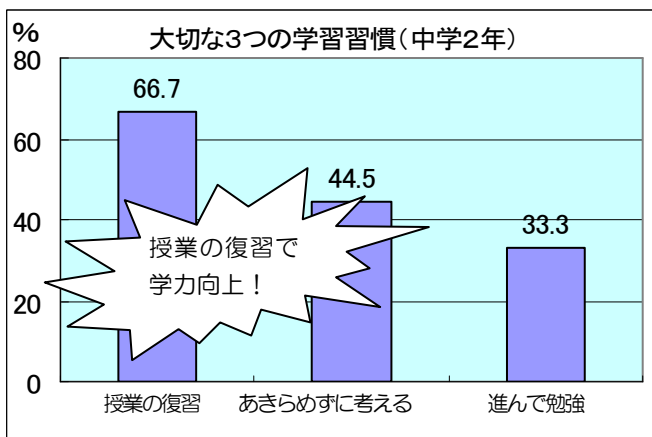
進んで勉強する、テレビのルールを守る子どもは、学力が伸びる！



小学5年の場合、学力上位の子どもは、自分から進んで勉強しています。また、テレビなどのルールを決めたり、時間を決めて勉強したりすることを大切にしています。

生活習慣で大切なことは、1日の生活リズムをつくることです。勉強をする時間やテレビ・ゲームなどをする時間をしっかり決め、きまりよい生活をするのが、学力を高めるために大切なことと言えます。

授業の復習をする、ねばり強く考える子どもは、学力が伸びる！



中学2年の場合、学力上位の子どもは、学校の授業の復習をよくやっていることがわかりました。また、難しくてもあきらめずに考えることや自分から進んで勉強することなども大切だと言えます。

その日に習った授業の内容をしっかり復習し、少々難しくてもあきらめずに考える、進んで勉強する、それを毎日積み重ねることで、学習したことがしっかり身につき、学力が高くなるというわけです。

教育研究所からのメッセージ

ここで紹介したことは、どれも当たり前のことですが、この当たり前のことを実行すること、毎日継続することこそが、学力向上のためには一番大切なことです。

- 家庭学習では、自分から進んで、授業の復習を中心に、くり返し練習に力を入れましょう。
- 毎日の生活では、勉強を生活の中心に位置づけ、遊びやテレビなどの時間のルールを決めて、きまりよい生活をおくりましょう。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話してください。

電話相談(門川町教育相談室)
63-1566

~~~~返信欄(教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)~~~~